

# ユーモアスピーチ船橋

2018 (H30) 年 9 月 20 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

149 回船橋ユーモアスピーチ

2018 年 9 月 20 日 (木)

3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「夏バテ」、「やせ我慢」

ロングスピーチ

「渡る世間はマジックばかり！」 中久木 一乗さん

「シルバーリハビリ体操」 関岡 直樹 さん

8 月 9 日の参加者：入江、川田、原田、山中、飯野、中久木、はらだま、工藤、石渡、松永、田谷、大塚、中島、河野、植野、早瀬、町田、長嶋 18 名

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘

5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

開催日と場所

毎月第②木曜日 14:00~16:30

会場「ニッセイ・ライフプラザ船橋」

船橋市湊町 2-1-1 日生船橋ビル 1F

## ロングスピーチ

「西郷どん&そのファミリー」

入江 清之さん

### 1. 隆盛生誕の地 (現在の鹿児島市加治屋町)

薩摩藩の郷中教育がこの町では厳しく行われ、下記の他有能な人材を多数輩出。

- ・大久保利通、・西郷従道 (隆盛実弟、海軍大臣)、
- ・大山巖 (隆盛従兄弟、陸軍大臣)、
- 山本権兵衛 (海軍大臣、総理大臣)、東郷平八郎 (対露の連合艦隊司令長官)。他

### 2. 隆盛の人物像

隆盛が革命家として輝いていたのは明治維新までだが、今尚人気があるのは：

- ① 一度決めたら、それに向けあらゆる戦略を創造する頭脳の持ち主であった。
- ② 度量が大きく、上下関係なく人々に信頼されていた。
- ③ 自分の地位や待遇等に拘らない。
- ④ 何事にも質素で贅沢を嫌った。

### 3. 隆盛の明治維新における功績

倒幕へ向けた薩長同盟で王政復古の号令が宣され、徳川幕府は崩壊し、明治政府が誕生した。これに反発する旧幕府軍と政府軍間で戊辰戦争が始まると政府軍の参謀として総指揮を取り、江戸攻めでは旧幕臣・勝海舟との会談で無血開城を約し、江戸の町と市民百万人の命を救う。新政府の基盤となる廢藩置県断行。

### 4. 隆盛の兄弟 (4 男 3 女、隆盛は長男)

3 男従道は西南戦争では隆盛に与せず、兄弟の中で一人政府軍につき、新政府で海軍大臣等を歴任。一方、他の兄弟たちは戊辰戦争や西南戦争の犠牲者となる。

### 5. 隆盛の妻子たち (生涯 3 人の妻を娶る)

- ・最初の妻・須賀は、隆盛が藩主につき江戸詰めで不在、家計も苦しく 2 年で離婚。
- ・2 番目の妻・愛加那は、隆盛が奄美大島に身を隠していた時の妻だが、内地へ入れず二人は生き別れ。二人の間の 1 男・1 女は、糸子が手元に引き取って育てた。
- ・3 番目の妻・糸子は、隆盛 37 歳の時に結婚。二人の間に 3 人の男子がいた。



## ロングスピーチ

## 「古典落語:お見立て」

石渡 巧さん



## 3 分間スピーチダイジェスト テーマ「捨てる」、「笑い」

## 植野晏生：「大輪朝顔」

入谷朝顔市に行った。渡辺直美に似た立派な蕾を見て、「これ大輪の朝顔？花びらが20cm超える？」と質問したら、「そんなでっけいの見たことねえよ！」と言われた。台風12号の次の日、向島百花園で大輪朝顔の押し花をしてきた。(それがこれ)。7月月末に靖国神社の大輪朝顔を見に行った。そのときに作った押し花がこれ。花の直径が24cmある。我が家の朝顔が大きくなるのは、種の選定を間違っていると指摘された。来年用に大輪朝顔の種を買った。

## 中久木一乗：「捨てる」

本年3月末、歯科診療所を閉じ すてられないものが沢山です。厄介なのは、診療関係以外の品物を「捨てる」か「残す」かの心の葛藤であります。貰った大きな絵画、大規模な外国製のXマス飾り等、それに日展作家の等身大の彫刻・三つとか、何トンもある巨大な石・二つ、どれも捨てるのは技術的に難しいし 心理的にはなお難しいのです。

歯科関連の書籍、30年取り組んできたタバコ問題に関する資料も捨てるには抵抗があります。そこで、「何を残すか」を考えることにしました。それを置く場所があるのか、また使う機会があるのか、それを使う能力・根気が本当にあるのか？ 多分、残し過ぎて苦しむであろう我が人間性にアキラメを覚えつつ、結論を先延ばししています。その際、忘れてはならないことは、私が捨てられる前に これらの品々を捨てることでしょう

## 山中 昇：「ヨガ」

私は、昨年1月からこれまで在宅していた500日で360回もヨガスタジオに通っています。トレーニングメニューの中の定番である「皿回し」を紹介しました。誰でも簡単に楽しくできる柔軟体操ですが、実は特筆に値するすばらしい全身運動です、毎日これをやって心身ともに健康になりましょう！



**工藤文夫：「正しい素麺の食べ方」**

夏と言えば素麺ですが、その食べ方が間違っていたことが長年生きてきて、初めて知りました。TV のアンケートで 66% の人が、間違っているらしいです。鍋で茹でて、氷水の器に盛り、そのまま食べていたのですが、そうすると麺が水を吸ってふやけ、つゆもうすまって美味しくないとのこと。正しくは、茹でた麺を、ざるに、一口サイズに盛って行き、さらに麺の上に、氷をのせて食べるのが正解。料理はこのひと手間が大切らしい。私見ですが、めんつゆは「桃屋」の大徳利 濃縮 2 倍を推薦します。

**早瀬君子：「笑い」**

子供の頃は外で遊び回るのが好きな結構お転婆で明るい少女でしたが、中学から高校生になる年代になり、家の中で本を読むことが多くなった頃から、悲観的に物事を考えてしまう“根暗傾向” になってしまいました。いつまでも過去の失敗の後悔から解放されず、日常のミスにも何日間も悩み、いつも気持ちが重い困った性格なのですが、多分相当に“笑いのツボ” が発達しているお蔭で救われ、精神も病まずに今日まで来られたように思います。今日の石渡さんの落語にも大笑いしながら気持ちが一気に軽くなり、いつも、ユーモア教室の皆さんのお話に笑わせて もらう度に、豊かな“笑いのツボ” が気重を解消してくれることを実感しています。

**原田 公平：「近況報告」**

少し休んでいたのので近況:週に 4 日前後は警備の仕事、残りは民謡中心の趣味三昧。警備も民謡も 70 代での出会い、それが今や、最高の生き甲斐です。後期高齢者となり 2 年目、仕事で社会参加できるのは嬉しい。今、ある鉄道の車両基地勤務で通用門に立つ仕事、ある午後 5 時過ぎ、初老の男性に、「お疲れ様」と声を掛ける。すると「お疲れ様、この後もよろしくお願ひしますよ」と返答。ここは 24 時間警備なので、ボクの後は夜勤者がつく、その気配りに、胸が熱くなった。2 日後の朝、40 歳代の男性に、「おはようございます」と挨拶する。「おはようございます。熱中症、本当に注意してくださいよ」と、思いがけないことば。この仕事初めて 5 年になるが、警備員を気遣うことば初めて。挨拶の後の「一言」に、何時までも心に残りました。

**入江清之：「傘寿」**

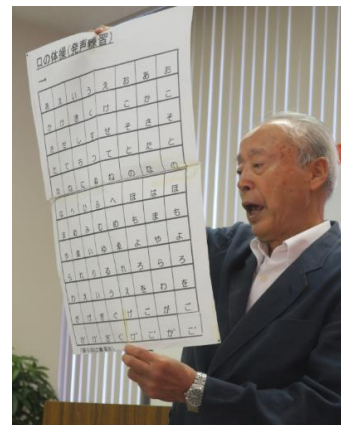
実は私は昨日 79 歳の誕生日でした。それに今年は数えて 80 歳なので、長寿の祝いの一つ傘寿でもある。それに誕生日が 8 月 8 日の八の末広がりだダブルなので、重ねてめでたい年だ。それから私はお隣の韓国・ソウル生まれだが、その当時韓国は日本の統治下にあり、内地より外地で働いた方が給料なども良かったようで、私のオヤジはそれが目的で韓国へ赴任したそう。しかし私は生後半年で宮崎県へ転居したので、故郷の風景やハンゲル等の記憶は一切ないが、記録としては私の戸籍の出生地欄には朝鮮京城府・・・と記載されているので、韓国産であることは間違いないです。カムサハムニダ。

**飯野 望：「捨てる」**

私は、なかなか物が捨てられませんので、長嶋理事長に極意を教わると、捨てることから得られる価値を知ること！とおっしゃいます。更におたずねすると、捨てるのは過ちを認めること！財布の中身などは捨ててしまいなさい！！とおっしゃるので、その通りにし、さらにへそくりも捨てるように家内に進めると、へそくり捨てるくらいなら、あんたを捨てます！！と言われました。

**長嶋秀治：「捨てる」**

整理整頓が不得手な私は捨てるのが下手で、ため込んでしまふ方が得手。衣料に絞ってみると、まずスーツ、今着ているものは21年前のオーダーメイド。友人が冠婚葬祭用の服だけ残し、後は処分したと聞いてびっくり。背広の下のポロシャツ、一番古いものは昭和43年～50年まで本八幡に住んでいて、その当時市川駅の近くにあったデパートで買ったもの。その下のTシャツは1991年バルセロナで買った92年夏季オリンピックのマークの入り、同じ時期にパリで買った92冬季アルベールビルオリンピックのマーク入りのもの。この2枚がまだ現役で活躍しているのは世界広しといえど珍しいと思う。その下はBIRTHDAY SUIT これも古く81年愛用。これだけはもっともっと大事にしたい。

**町田雅和：「捨てる」**

7月31日、元AKB48の前田敦子が結婚しました。私は彼女がAKBを卒業して女優さんになってからファンになりました。特にNHKの落語THE MOVEでの花魁役で「行っといで」のセリフが最高でした。アッチャンが結婚したことは嬉しいけれど、もう少し独身でいて欲しかったと思うのも本音です、ただし、一つの救いは、結婚相手の誕生日が私と同じ8月20日だったこと、あーアッチャンは8月20日生まれの人が好きだったんだと、かつてに思っています。今日は捨てるというお題で、私は前田敦子に捨てられたという話でした。

**大塚 親雄「笑う」**

1970年の後半一世を風靡した春日三球、照代、地下鉄の電車はどこから入れたの考えると一晩中寝られないの、私も地下鉄ではないけれど笑いがなぜ竹冠なのかを考えると寝れない。むかし中国から渡ってきたときは竹冠に犬「??」であった。籠のなかに犬をいれてあたふたするのを見て笑った。これであればなんとなくうなずける。でもすぐ消えた。竹冠といえば竿、笠、笛、籠・・・その中に笑いがはいると何かおかしい。笑うは口で笑うので口へんであるべきだと私は思う。どんな漢字があるか挙げてみると、咲う（口をすぼめてわらう）古事記でつかわれていた、嗤う、?う（あざけりわらう）、晒う（ほほえむ）、呵う、听う（大声でわらう）がある、すべて口偏である。ところが最後の最後にでてきた口偏に笑い「？」俗字として使われてきた。いまは口が取れて笑いになった。という事である、解ったような解からないような、でもこれで夜寝れるようになった。

☆スピーチダイジェスト送付先（1週間以内に）[mac555new@ybb.ne.jp](mailto:mac555new@ybb.ne.jp)

**予告：10月船橋ユーモアスピーチの会**

10月11日（木）14時 ニッセイプラザ1階 会議室  
 ロングスピーチ 川田 茂雄さん「回想」  
 山中 昇 さん「七福神 物語」  
 スピーチテーマ 「簡単」「さじ加減」